



社会福祉施設における労働災害発生状況

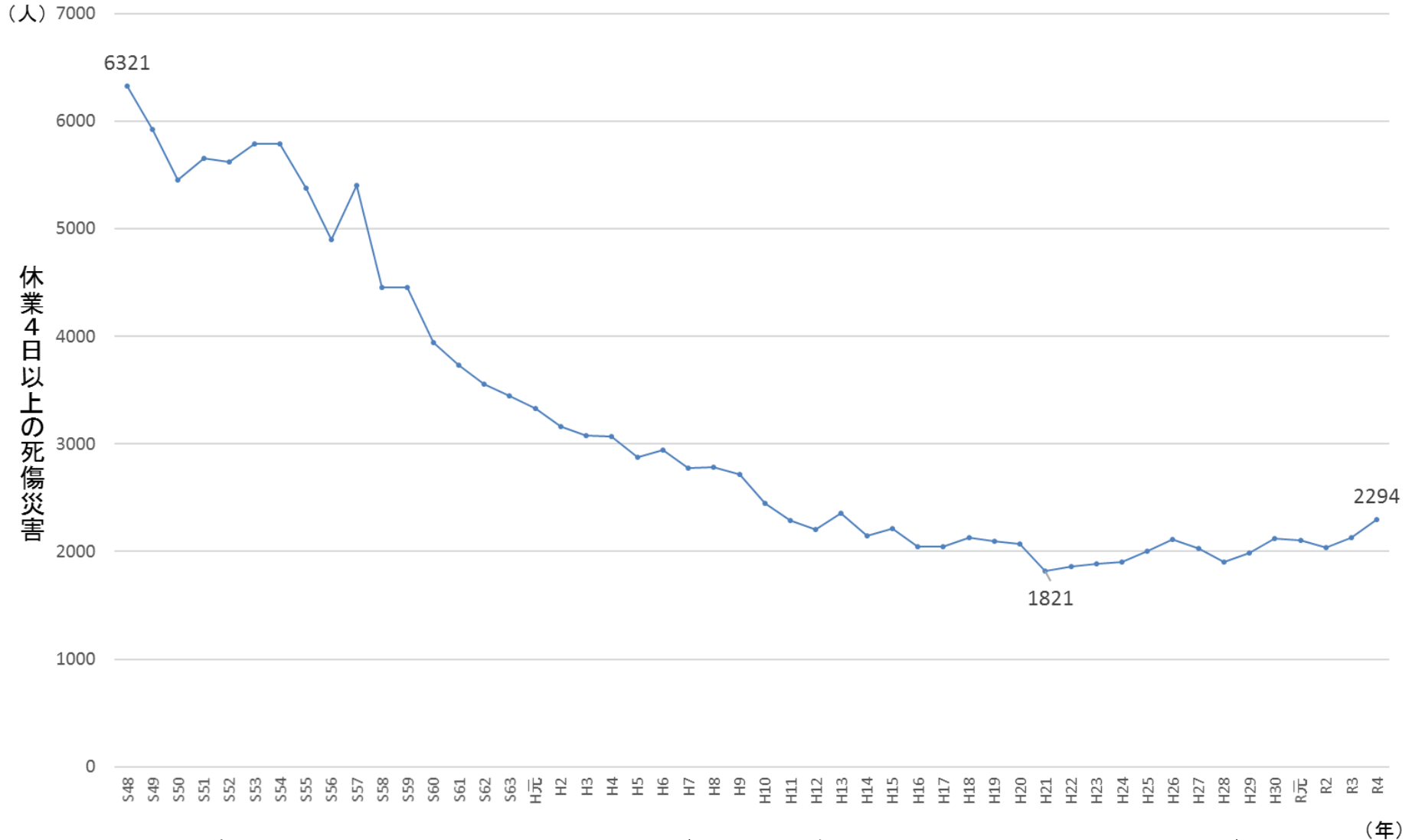
長野労働局労働基準部健康安全課

※当行政の労働災害統計における「社会福祉施設」は、高齢者介護施設のほか、障害者福祉施設、保育施設も含まれる。
※本資料の労働災害発生状況は、すべて新型コロナウイルス感染症の罹患によるものを除いたもの。

労働災害の発生状況の推移



以前は長期的に着実に減少も近年増加傾向が継続

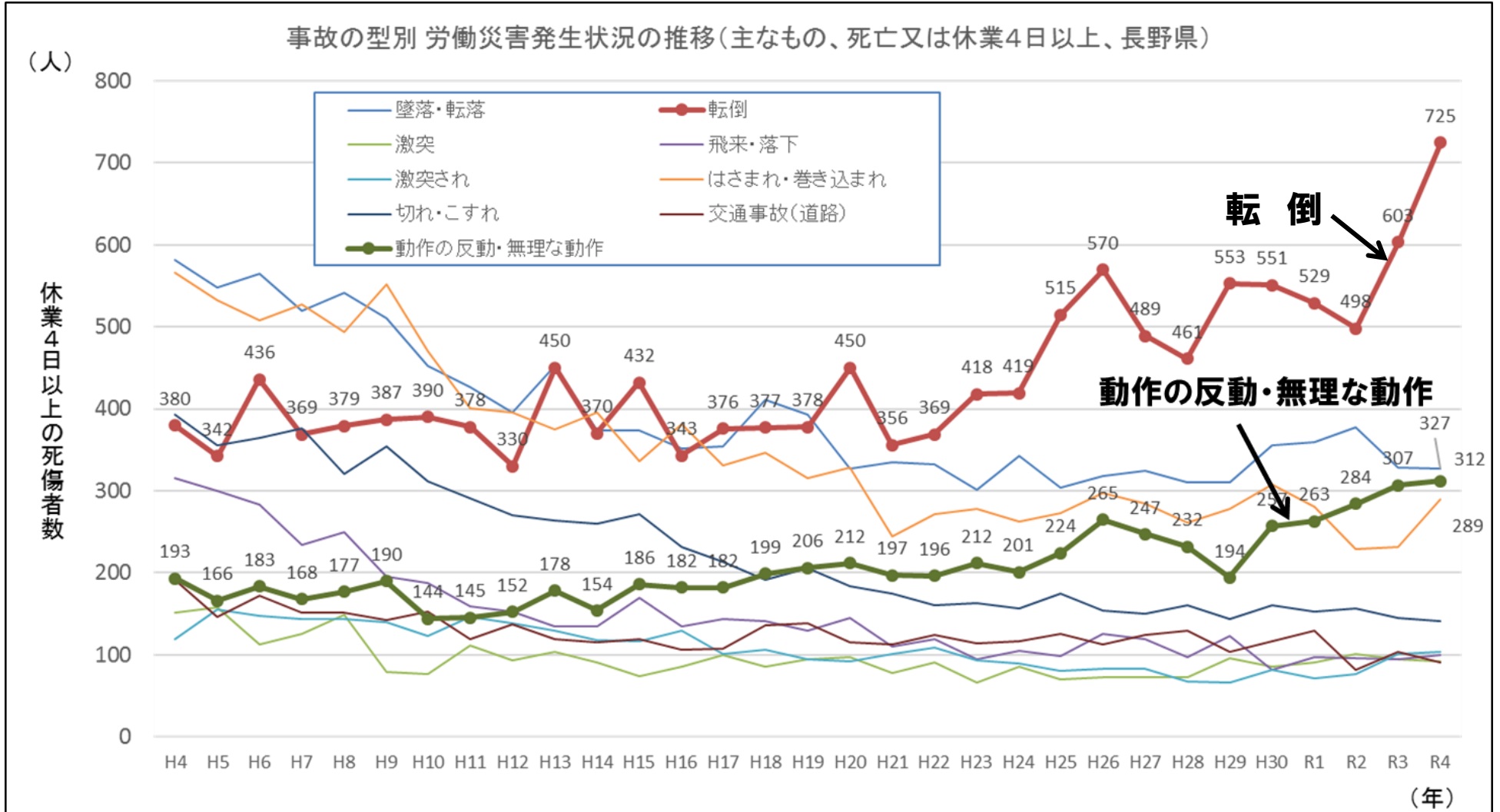


出典：労働者死傷病報告を長野労働局が集計したもの（長野県、全産業計、休業4日以上又は死亡）

労働災害の「事故の型」別発生状況の変遷

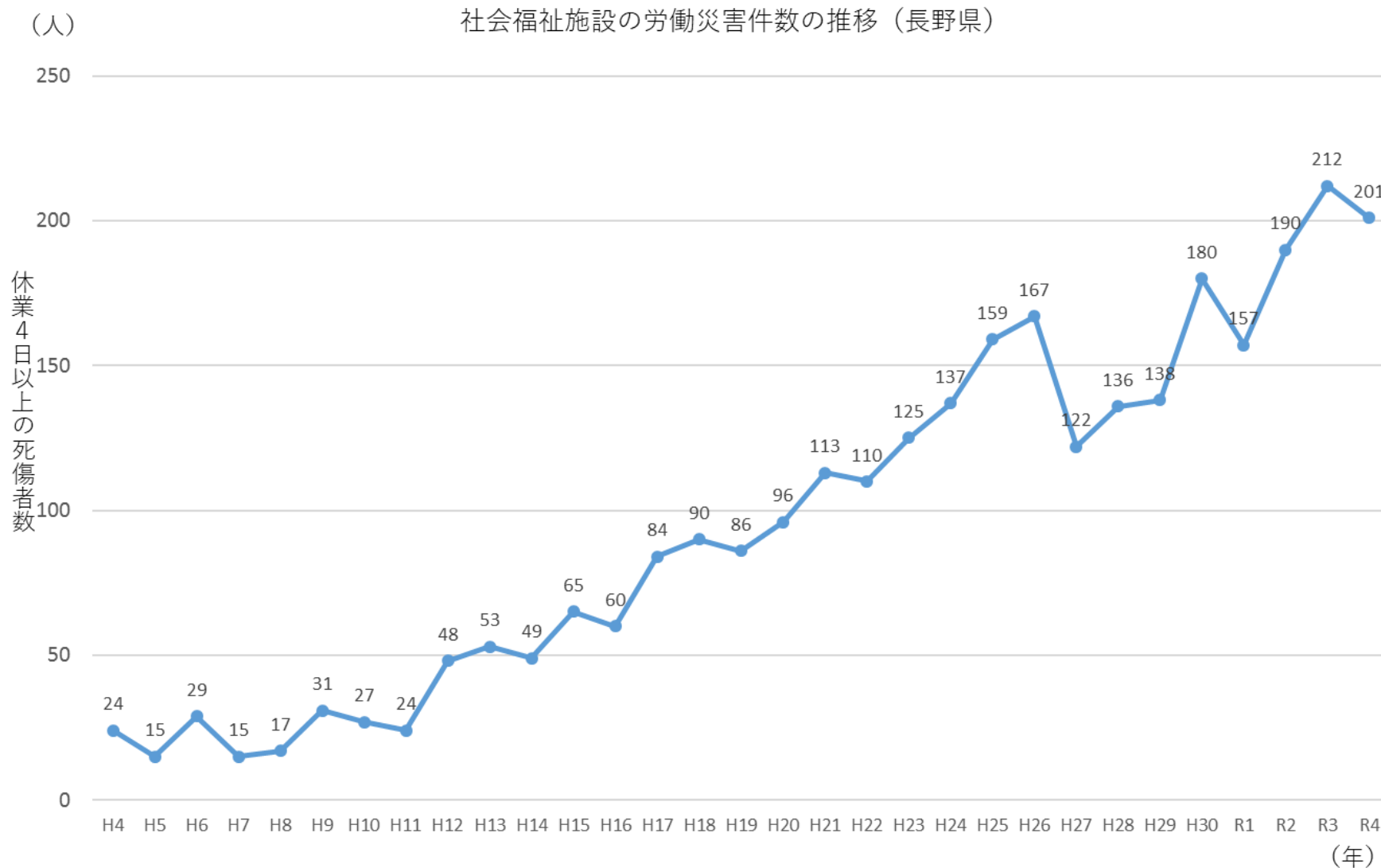


転倒や腰痛などの「行動災害」の増加が続く



出典：労働者死傷病報告を長野労働局が集計したもの（長野県、全産業計、休業4日以上又は死亡）

社会福祉施設では労働災害が年々増加傾向



出典：労働者死傷病報告を長野労働局が集計したもの（長野県、死亡又は休業4日以上）

年代別の労働災害発生状況の推移（全国・全産業）



高齢者の労働災害は、増加傾向が続く。



データ出所：労働力調査（総務省）（年齢階級，産業別雇用者数）における年齢別雇用者数（役員を含む。）
 ※平成23年は東日本大震災の影響により被災3県を除く全国の結果となっている。

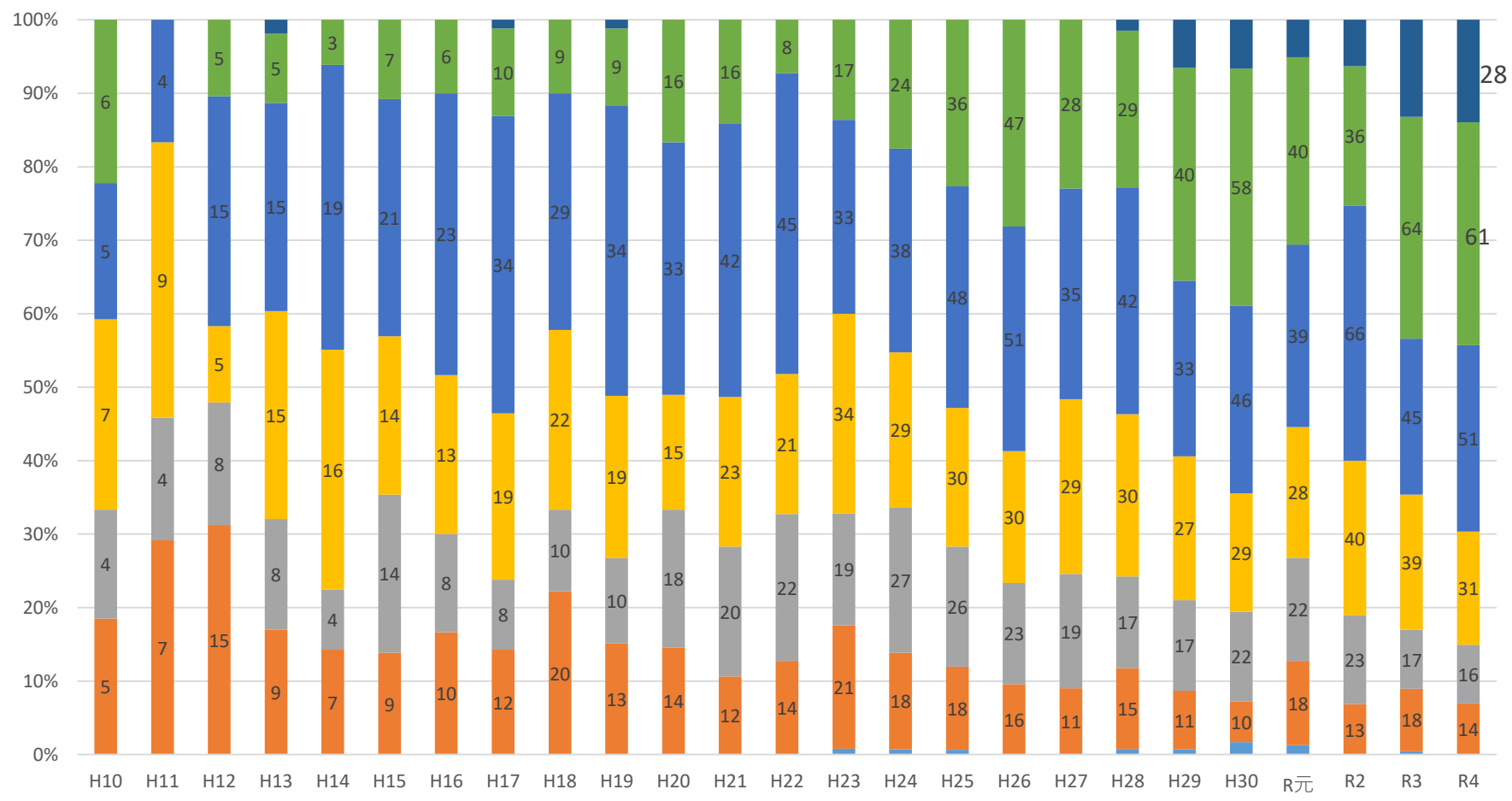
データ出所：労働者死傷病報告※新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く

年代別の労働災害発生状況の推移(令和4年・長野県・社会福祉施設)



60歳以上が4割以上を占める

労働災害全体に占める被災者の年齢層別割合

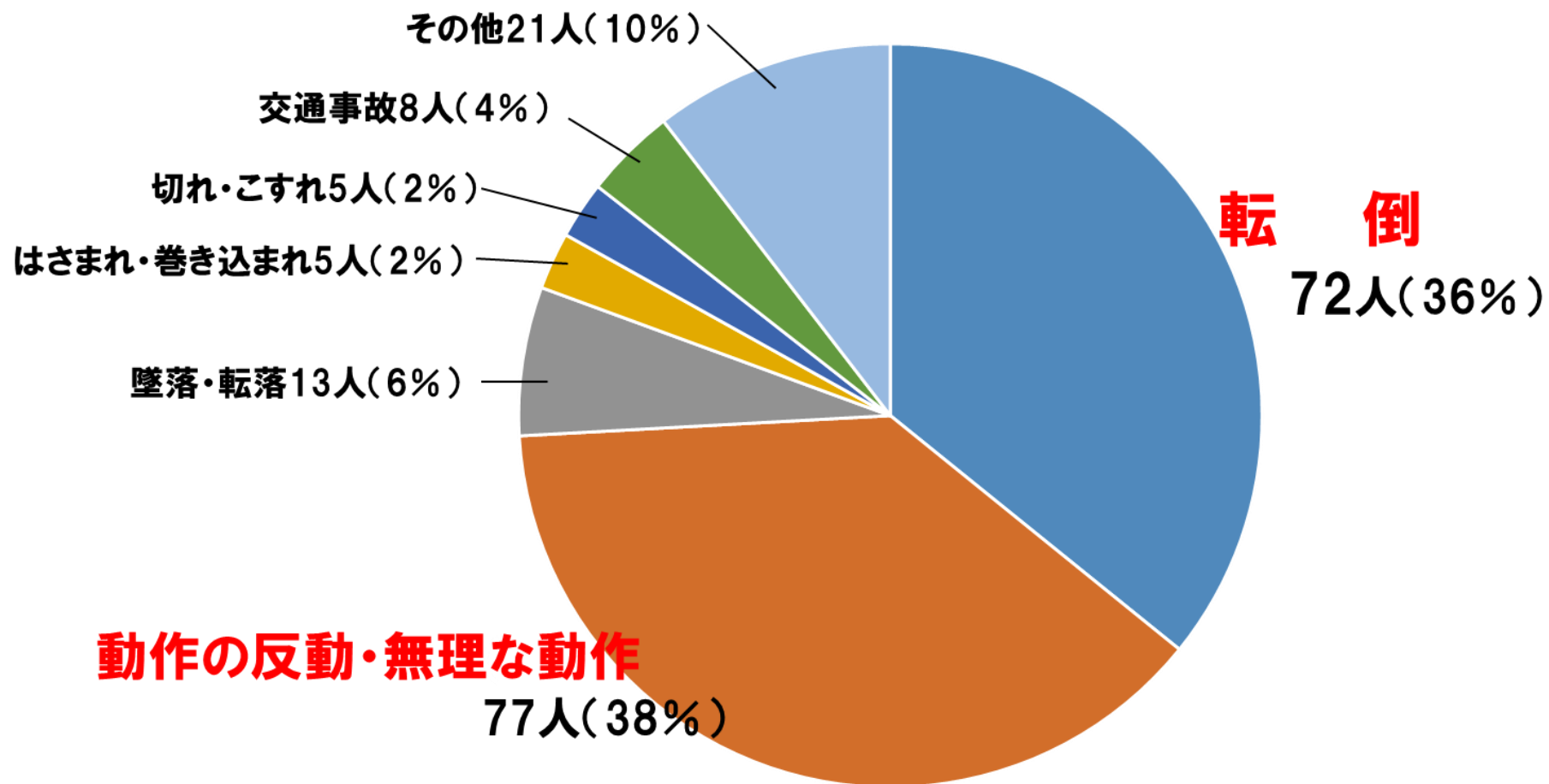


■ 20歳未満 ■ 20～29歳 ■ 30～39歳 ■ 40～49歳 ■ 50～59歳 ■ 60～69歳 ■ 70歳以上

(年)

社会福祉施設における「事故の型」等別 災害発生状況(令和4年・長野県)

社会福祉施設の労働災害は、「転倒」と「動作の反動・無理な動作」で7割以上を占める



(全体:201人)

(新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く)